

コンプライアンスの浸透と醸成

日本化薬グループは、コンプライアンスを企業活動における最優先課題と位置付け、2011年に「[日本化薬グループ行動憲章・行動基準](#)」を制定しております。コンプライアンスの浸透と醸成を図るため、「教育研修」や職場毎に独自の「行動計画」を策定してもらい、現場での具体的な活動を実施しています。年度を通じた活動結果を評価した上で、継続的な啓蒙に取り組みました。



中国グループ会社での研修風景

■コンプライアンス推進活動

10月の「コンプライアンス推進月間」に「コンプライアンスアンケート」を実施しました。コンプライアンス推進に関する職場の課題を抽出した上で、改善のコメントを含んだ報告書を各職場へフィードバックしています。職場ではこれをもとに次年度の行動計画を策定し、意識向上のためのPDCAを回しています。全体の結果は社内報「とらい」にて発表しました。

■コンプライアンス教育研修

2014年度の教育研修は情報セキュリティを主題とし、国内で延べ47回実施し、約2,700名が受講しました。また、新たな取り組みとして、集合研修に参加できない特に営業職向けに、研修内容をDVDにて配信し550名が受講しています。

海外グループ会社については、中国を中心として階層別の研修を延べ11回実施しました。引き続き、各社と連携を取り、地域の文化、習慣などを考慮しながらコンプライアンス意識の浸透を図っていきます。

■内部通報制度

「内部通報・相談窓口」を社内と外部に設置し、コンプライアンス違反に繋がる事象を防止、早期に是正することに努めています。

●日本化薬グループ内部通報制度

